
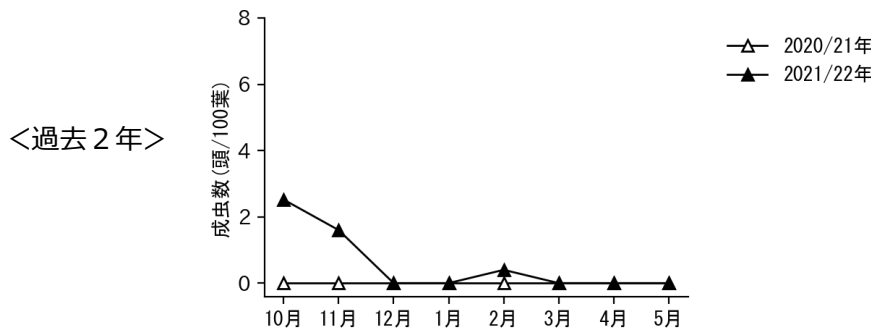
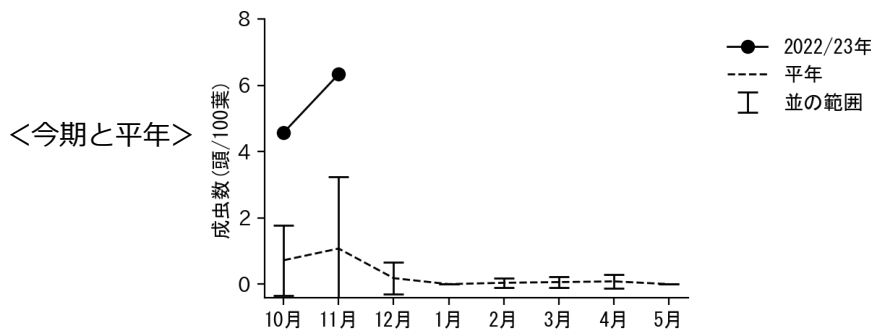


作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	① ミナミキイロアザミウマ		
調査結果	11 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	11 月からの増減傾向	↓	
		12 月の発生量 (平年比)	やや多
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果


成虫数の推移



・発生施設率33.3% (平年 : 14.0%)、一部施設で多発

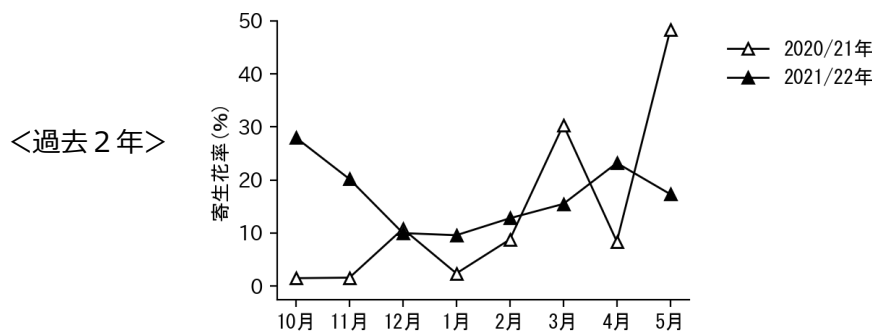
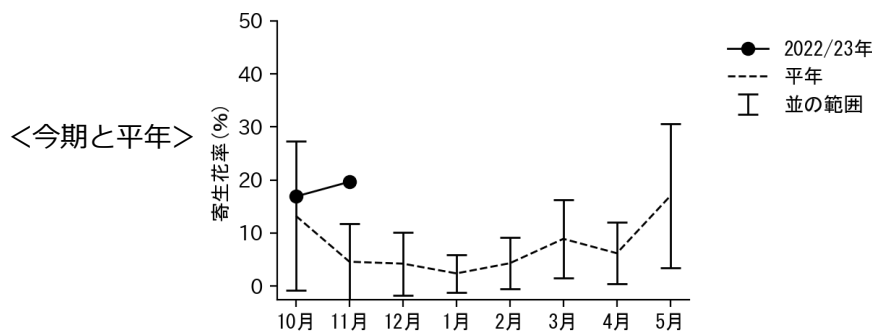
防除のポイント

- ・本種はスイカ灰白色斑紋ウイルス等を媒介する。
- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・繁殖力が高く多発すると防除が困難になるため、青色粘着板等を用い早期発見・防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を選定する。

作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	② ヒラズハナアザミウマ		
調査結果	11 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	11 月からの増減傾向	→	
	12 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果


寄生花率の推移



・発生施設率66.7% (平年 : 32.0%)

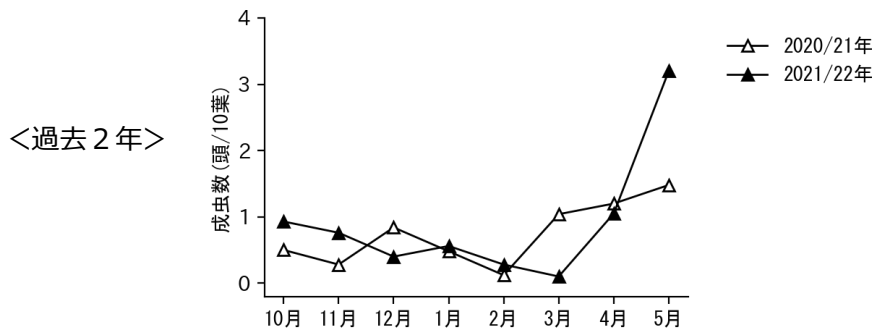
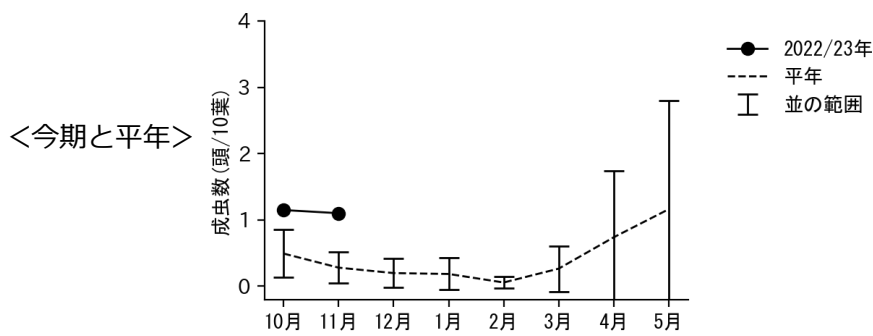
防除のポイント

- ・本種は主に花に寄生し、多発すると産卵により果実へタ部や果梗部が黒変する。
- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・繁殖力が高く多発すると防除が困難になるため、初期防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない薬剤を選定する。

作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ タバココナジラミ		 <p>成虫</p>
調査結果	11 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	11 月からの増減傾向	→	
	12 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

成虫数の推移



・発生施設率100% (平年 : 44.0%)、一部施設で多発

防除のポイント

- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・本種は、多発すると果実の着色異常やすす病を引き起こすため、早期発見・防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を選定する。



幼虫